



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956 URL <http://www.bond.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横田 隆

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 社長室室長

(氏名) 東郷 正人

TEL 06-6228-2877

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	52,786	3.1	2,650	5.3	2,770	15.7	1,594	19.8
25年3月期第2四半期	51,223	6.5	2,516	17.6	2,393	14.3	1,331	44.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,095百万円 (80.8%) 25年3月期第2四半期 1,159百万円 (78.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	80.94	—
25年3月期第2四半期	67.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	76,181		43,670		54.3	
25年3月期	74,522		41,755		53.3	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 41,382百万円 25年3月期 39,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
26年3月期	—	14.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の第2四半期末の内訳 普通配当 12円00銭 ボンド発売60周年記念配当 2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,400	6.3	5,950	10.6	5,980	11.5	3,350	8.6	170.05

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	20,353,720 株	25年3月期	20,353,720 株
26年3月期2Q	653,596 株	25年3月期	653,488 株
26年3月期2Q	19,700,200 株	25年3月期2Q	19,700,657 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、第2四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1) 経営成績に関する説明 P. 2
- (2) 財政状態に関する説明 P. 2
- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 P. 3

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 P. 3
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 P. 3
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 P. 3

3. 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 P. 4
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 P. 6
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 P. 8
- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 P. 9
 - (継続企業の前提に関する注記) P. 9
 - (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) P. 9
 - (セグメント情報等) P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による大規模な金融緩和、政府が打ち出す公共投資等による景気刺激策を背景に、円安進行による輸出の持ち直し、株価の上昇、個人消費の持ち直し等、企業業績や景気は緩やかに回復しています。先行きについても2020年の東京オリンピック開催が決定し、長期での景気の回復基調が予測されます。一方、海外経済においては、緩やかな回復基調にはあるものの、アメリカの財政不安や新興国経済の成長鈍化による景気下振れの要因がある等、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社グループの関連業界では、住宅業界においては、景気回復に伴う期待感や消費税増税前の駆け込み需要により、戸建て住宅やマンションの新設およびリフォーム工事が堅調に推移しました。土木建築業界においては、政府が主導する復興需要の継続と公共投資の増加により、インフラ関連を中心とした補修・補強工事並びにストック市場における補修・改修工事が堅調に推移しました。自動車業界においては、前年のエコカー補助金制度の反動により業界全体としては前年を下回った生産で推移しているものの、好調な北米への輸出や消費税増税前の駆け込み需要により一部で増産の動きが見られました。電子・電機業界においては、スマートフォンやタブレットといった携帯端末市場を中心に回復基調は見られるものの、全体としては依然として厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、平成27年3月期を目標到達年度とする中期経営計画の基本戦略に従い、コア事業での確固たる地位の確立と信頼性の確保による利益の創出、事業拡大による成長戦略、アジア市場への展開を売上達成の基本姿勢として、強い生産と物流体制、スピードのある研究開発部門の構築に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高527億86百万円(前期比3.1%増)、営業利益26億50百万円(前期比5.3%増)、経常利益27億70百万円(前期比15.7%増)、四半期純利益は15億94百万円(前期比19.8%増)となりました。

セグメントごとの概況は、次のとおりであります。

① ボンド事業部門

住宅関連においては、戸建て住宅およびマンションの新設着工戸数が堅調に推移したことから、内装工専用接着剤、建材用接着剤および戸建て用シーリング材が引き続き順調に売上を伸ばしました。産業資材関連においては、紙関連用途向け水性接着剤、パネル用途向けウレタン系接着剤および自動車関連産業向け離型剤を中心に売上を伸ばしました。土木建築関連においては、道路、トンネル、橋梁等のインフラ市場における補修・補強工事並びにビル、マンション等のストック市場における補修・改修工事が増え、補修材や工法、また、ビル建設用シーリング材が順調に売上を伸ばしました。一般家庭用関連においては、ホームセンターに対する新規製品導入やテレビコマーシャル放映による既存製品の拡販を展開した結果、順調に売上を伸ばしました。

以上の結果、売上高256億46百万円(前期比6.3%増)、営業利益22億60百万円(前期比4.5%増)となりました。

② 化成系事業部門

化学工業および塗料業界向けにおいては、産業向け商品を中心に需要減となる中、新規開拓や高止まりする原材料価格の販売単価への転嫁を行ったものの、売上は前年並みで推移しました。電子・電機業界向けにおいては、一部業界の回復基調により封止材等の基板関連材料に動きはあったものの、全体としては売上が前年実績を下回りました。自動車業界向けにおいては、為替の円安基調により北米向け自動車販売が好調に推移するなど機能性材料等の販売は堅調なものの、前年のエコカー補助金制度の特需をカバーするまでには至らず、売上は前年実績を下回りました。

以上の結果、売上高241億50百万円(前期比1.2%減)、営業利益3億5百万円(前期比5.7%増)となりました。

③ その他

工事請負事業(土木建設工事業)においては、インフラおよびストック市場における補修・改修・補強工事が順調に推移し、売上を伸ばしました。化学品データベース事業においては、海外向けのSDS作成支援ソフトおよび海外法規データベースの受注遅延等により売上は前年実績を下回りました。塗料事業においては、住宅設備、建築金物およびレジャー用途向け製品の販売が順調に推移しました。

以上の結果、売上高29億89百万円(前期比13.2%増)、営業利益は88百万円(前期比22.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ16億58百万円増加し、761億81百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が14億54百万円減少したものの、現金及び預金が12億53百万円、未成工事支出金が5億99百万円、投資有価証券が5億29百万円増加したこと等によるものです。また、負債は前期末に比べ2億56百万円減少し、325億10百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が4億13百万円減少したこと等によるものです。純資産は前期末に比べ19億15百万円増加し、436億70百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が13億18百万円、その他有価証券評価差額金が2億80百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、146億81百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、22億27百万円となりました。これは、たな卸資産の増加額が9億17百万円、仕入債務の減少額が4億91百万円、法人税等の支払額が11億24百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が26億90百万円、売上債権の減少額が15億49百万円あったこと等によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、8億23百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が8億38百万円あったこと等によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、1億54百万円となりました。これは、配当金の支払額が2億75百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、平成25年5月14日発表時の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,427	15,681
受取手形及び売掛金	33,171	31,716
有価証券	99	-
商品及び製品	5,184	5,454
仕掛品	257	314
原材料及び貯蔵品	754	793
未成工事支出金	100	700
その他	1,070	1,105
貸倒引当金	△104	△96
流動資産合計	54,961	55,669
固定資産		
有形固定資産	12,075	12,414
無形固定資産	1,214	1,187
投資その他の資産		
投資有価証券	4,937	5,467
その他	1,411	1,525
貸倒引当金	△78	△82
投資その他の資産合計	6,270	6,910
固定資産合計	19,560	20,511
資産合計	74,522	76,181

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,093	23,679
短期借入金	299	419
未払法人税等	1,090	954
賞与引当金	884	904
役員賞与引当金	77	43
その他	2,295	2,292
流動負債合計	28,741	28,294
固定負債		
退職給付引当金	809	804
役員退職慰労引当金	214	175
その他	3,002	3,237
固定負債合計	4,026	4,216
負債合計	32,767	32,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,603	4,603
資本剰余金	4,182	4,182
利益剰余金	30,751	32,070
自己株式	△622	△622
株主資本合計	38,915	40,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	800	1,080
為替換算調整勘定	△2	67
その他の包括利益累計額合計	798	1,148
少数株主持分	2,041	2,288
純資産合計	41,755	43,670
負債純資産合計	74,522	76,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	51,223	52,786
売上原価	42,554	43,577
売上総利益	8,668	9,208
販売費及び一般管理費	6,152	6,558
営業利益	2,516	2,650
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	53	58
為替差益	-	76
その他	111	108
営業外収益合計	172	254
営業外費用		
支払利息	12	10
売上割引	79	84
持分法による投資損失	4	1
その他	198	37
営業外費用合計	294	134
経常利益	2,393	2,770
特別利益		
固定資産売却益	-	0
段階取得に係る差益	-	24
負ののれん発生益	19	-
その他	4	0
特別利益合計	23	25
特別損失		
固定資産処分損	30	16
投資有価証券評価損	62	0
減損損失	-	82
その他	21	5
特別損失合計	114	104
税金等調整前四半期純利益	2,303	2,690
法人税、住民税及び事業税	763	978
法人税等調整額	96	3
法人税等合計	860	981
少数株主損益調整前四半期純利益	1,442	1,708
少数株主利益	111	114
四半期純利益	1,331	1,594

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,442	1,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△269	326
為替換算調整勘定	△15	58
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	△283	386
四半期包括利益	1,159	2,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,096	1,944
少数株主に係る四半期包括利益	62	150

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,303	2,690
減価償却費	480	648
減損損失	-	82
負ののれん発生益	△19	-
投資有価証券評価損益(△は益)	62	0
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△0
有形固定資産処分損益(△は益)	14	11
有形固定資産売却損益(△は益)	0	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	20	20
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△42	△33
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39	△4
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△377	△38
受取利息及び受取配当金	△61	△69
支払利息	12	10
持分法による投資損益(△は益)	4	1
段階取得に係る差損益(△は益)	-	△24
売上債権の増減額(△は増加)	726	1,549
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,148	△917
仕入債務の増減額(△は減少)	571	△491
その他	521	△138
小計	3,079	3,292
利息及び配当金の受取額	59	69
利息の支払額	△12	△10
法人税等の支払額	△784	△1,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,342	2,227
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△500
定期預金の払戻による収入	9	501
有形固定資産の取得による支出	△987	△838
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△200	△37
有価証券の売却及び償還による収入	-	100
投資有価証券の取得による支出	△423	△27
投資有価証券の売却による収入	0	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	32
その他	△13	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,618	△823
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	98	72
リース債務の返済による支出	△14	△13
配当金の支払額	△236	△275
少数株主への配当金の支払額	△22	△27
少数株主からの払込みによる収入	-	89
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174	△154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	527	1,254
現金及び現金同等物の期首残高	13,892	13,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,419	14,681

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ボンド事業部門	化成品事業部門	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,130	24,451	48,582	2,640	51,223	-	51,223
セグメント間の内部売上高 又は振替高	246	164	411	34	445	△ 445	-
計	24,377	24,616	48,994	2,675	51,669	△ 445	51,223
セグメント利益	2,163	288	2,451	72	2,524	△ 8	2,516

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料、工事請負、化学品データベースおよび不動産賃貸の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ボンド事業部門	化成品事業部門	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,646	24,150	49,796	2,989	52,786	-	52,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	296	179	475	26	502	△ 502	-
計	25,943	24,329	50,272	3,015	53,288	△ 502	52,786
セグメント利益	2,260	305	2,565	88	2,654	△ 3	2,650

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料、工事請負、化学品データベースおよび不動産賃貸の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

報告セグメントに含まれない事業セグメントである「その他」において、平成24年8月10日にミクニペイント㈱の株式を追加取得いたしました。これに伴い当第2四半期連結累計期間において、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「その他」にて19百万円の負ののれん発生益を特別利益に計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ボンド事業部門」セグメントにおいて、サンライズ・エム・エス・アイ㈱の静岡工場での生産を停止することを決定いたしました。これに伴い当第2四半期連結累計期間において、「ボンド事業部門」セグメントにて82百万円の減損損失を特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「ボンド事業部門」セグメントにおいて、持分法適用会社であったベトナムのKonishi Lemindo Vietnam Co., Ltd.を増資および持分の追加取得により、子会社化いたしました。これに伴い当第2四半期連結累計期間において、無形固定資産に44百万円ののれんを計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

参考：平成26年3月期 第2四半期 決算参考資料

1. 業績および業績予想

(単位：百万円)

		平成25年3月期	平成26年3月期			
		通期	第2四半期(実績)	通期(予想)	増減	増減率
売上高	連結	104,757	52,786	111,400	6,642	6.3%
	単独	79,150	40,485	84,100	4,949	6.3%
営業利益	連結	5,380	2,650	5,950	569	10.6%
	単独	3,523	1,709	4,000	476	13.5%
経常利益	連結	5,364	2,770	5,980	615	11.5%
	単独	3,621	1,961	4,190	568	15.7%
当期純利益	連結	3,084	1,594	3,350	265	8.6%
	単独	2,263	1,283	2,630	366	16.2%

2. セグメント別業績および業績予想

(単位：百万円)

		平成25年3月期	平成26年3月期			
		通期	第2四半期(実績)	通期(予想)	増減	増減率
ボンド事業部門	売上高	49,859	25,646	53,800	3,940	7.9%
	営業利益	4,448	2,260	5,010	561	12.6%
化成品事業部門	売上高	46,968	24,150	49,200	2,231	4.8%
	営業利益	434	305	460	25	6.0%
その他	売上高	7,930	2,989	8,400	469	5.9%
	営業利益	493	88	480	△13	△2.7%
調整額	売上高	-	-	-	-	-
	営業利益	4	△3	-	-	-
合計	売上高	104,757	52,786	111,400	6,642	6.3%
	営業利益	5,380	2,650	5,950	569	10.6%

3. 指標

(単位：百万円)

		平成25年3月期	平成26年3月期予想		
		通期	通期	増減	増減率
設備投資額	連結	2,001	2,300	299	14.9%
	単独	1,306	2,000	694	53.1%
減価償却費	連結	1,175	1,400	225	19.1%
	単独	894	1,100	206	23.0%
研究開発費	連結	1,540	1,600	60	3.9%
	単独	1,326	1,400	74	5.6%

(注1) 百万円未満の金額は切り捨てて表示しております。

(注2) 増減(増減率)については対前年同期比で表示しております。